

「土砂災害防止について」

東京都 豊島区立長崎小学校 5年 <sup>やまもと</sup>山本 <sup>よしと</sup>佳人

ぼくには栃木県に住む祖父母がいます。祖父母の家のうらには山があり、2011年の9月ごろ、家から50メートルもはなれていない場所で土砂くずれがありました。

2011年といえば東日本大震災があった年です。地震で地盤が弱くなっていたところ、大きな台風が来て土砂くずれが起きたそうです。当時のようすを祖父に聞くと、地下水がういてがけがくずれ、土砂が流れて道路が通行止めになり、ひなん生活をしなければならず、ふだんの生活ができなくなるような状況になったそうです。昔から大雨が降ると、山がくずれないか心配していたそうですが、実際すぐ近くがくずれたのを見て、とてもこわかったと感想をのべていました。その後、国が山のしゃ面をおしつけ山はだをくずれないようにする砂防工事を行い、今では安心して暮らせるようになっていました。しかし、その費用は23億円もかかって、完成するまで2年もかかったそうです。これをきいてぼくは、ふだんの生活ができなくなるなんてとても大変だろうなど思いました。こわかったらうし、2年も安心した日が送れないなんて、ぼくには想像もできません。土砂くずれがあった所に行く砂防工事というものに23億円というぼく大なお金がかかるということにもとてもびっくりしました。最近は大雨や地震で土砂災害が起こることが多い気がします。全国あちらこちらでこのような工事をしていたら、お金がかかって大変だと思いました。

ぼくが住む豊島区は、山などはないので、土砂災害は関係ないと思っていました。しかし祖父の話聞いて心配になったので、東京都の土砂災害けいかい区域というのを調べました。すると豊島区にも土砂災害の可能性のある場所がいくつかあることがわかりました。さらに豊島区だけでなく、すぐおとなりの新宿や板橋区にも何か所かありました。

最近ゲリラごう雨や大雨けいほうが多いので、東京に住んでいて安全ではないということに気付きました。祖父は、想定外のことが起こるのが自然災害というものだから、常に注意をおこたらないことが必要だと伝えてくれました。そこでぼくは、自分ができることを考えてみました。その結果防災についてぼくができることは、

- ・防災訓練等に積極的に参加すること
  - ・家族で話し合い非常時のひなん場所を、決めておくこと
  - ・外にいる時に災害が起きたときの連絡方法を決めておくこと
- などです。

これらのことを家族でよく話し合い、もしもの時に備えて心の準備をしておこうと思います。今年の夏休みは祖父母の家にいけず、少しさみしかったです。電話でためになる話を聞いて、防災について考えるきっかけになったのでよかったです。ありがとうございました。